

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 卷 第 4 号

第 4 週(1月22日 ~ 1月28日)

発行年月日:平成19年(2007年) 2月 1 日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

インフルエンザウイルスA香港型の検出

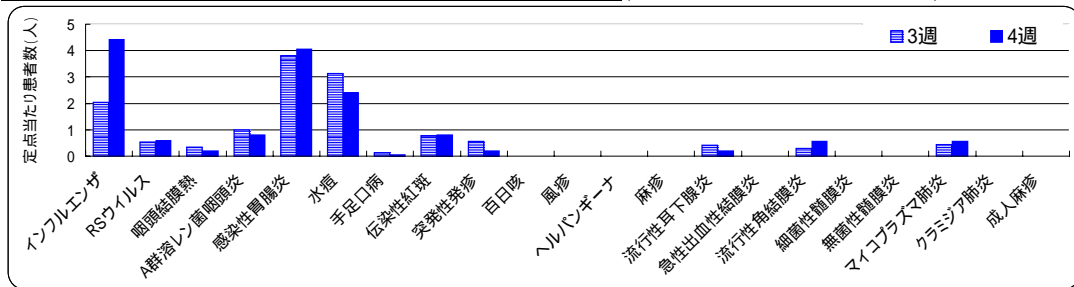
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第 3週(1月 15日 ~ 1月21日)の報告数よりさらに多くなっており、特にインフルエンザで急増しています。増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎等で、減少した疾患は水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

インフルエンザについては、平成19年1月15日および1月22日に採取された咽頭ぬぐい液およびうがい液からインフルエンザウイルスAH3型(A香港型)が検出されました。県内における今冬のインフルエンザウイルスA香港型の検出は今回が初めてであり、今後、県内で流行する可能性があるため注意が必要です。なお、県内におけるインフルエンザウイルスB型の検出については平成18年11月16日に公表されています。

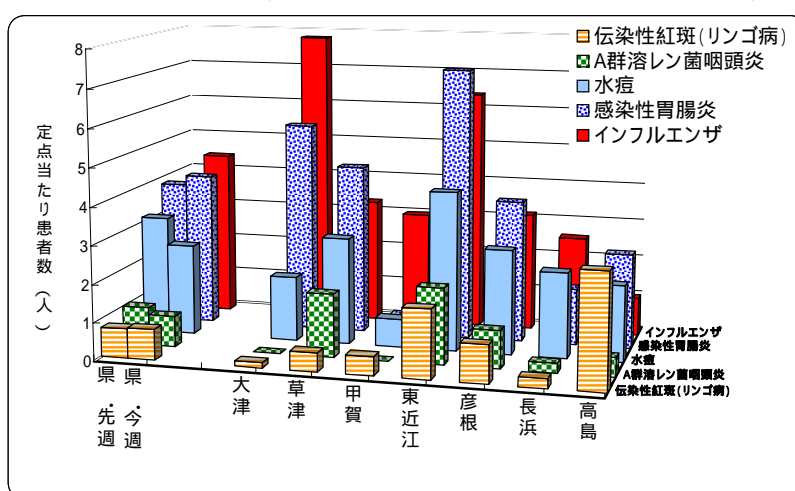
また、「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)および咽頭結膜熱に流行発生警報が発生しています。

今週は全数把握対象疾患の届出はありませんでした。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第4週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、伝染性紅斑の順に多くなっています。インフルエンザは甲賀以外で急増し、特に大津および東近江で多くなっています。また、感染性胃腸炎は東近江で先週よりかなり多くなっています。

インフルエンザに対する一般的な注意

インフルエンザに対する一般的な注意としては、

- 外出時にはマスクを使用する。
- 帰宅時には手洗いとうがいを心がける。
- 睡眠を十分にとり、栄養に気を配る。
- 室内を適度な湿度に保つ。
- 人混みに出かけることをなるべく避ける。
- 早めに医療機関を受診する(受診する際には、マスクを着用する)。

ことが大事です。

警報・注意報発生状況

水痘の警報・注意報発生状況(平成18年第49週～平成19年第4週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
49週	2.47		1.43		0.17		1.00		6.80		5.50		1.50		1.00	
50週	3.66		1.00		0.83		1.75		9.80		6.75		4.25		2.50	
51週	3.13		1.14		0.33		2.00		10.20		3.75		2.50		3.00	
52週	4.25		3.71		1.50		0.50		8.60		10.25		2.50		2.50	
1週	3.78		3.86		1.50		6.25		8.00		4.75		0.25		0	
2週	2.91		1.86		1.50		0.75		7.60		4.50		1.75		2.50	
3週	3.13		1.43		3.33		2.50		7.40		4.25		1.00		1.00	
4週	2.41		1.71		2.83		0.75		4.20		2.75		2.25		2.00	

：警報発生中 注意報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が7人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が4人以下になるまで継続して出されます。
注意報発生基準値：定点当たり患者数が4人以上という基準値を超えた時に出されます。

伝染性紅斑の警報発生状況(平成18年第49週～平成19年第4週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	
49週	0.75		0.29		0.67		0.25		0.60		2.75		0		1.50	
50週	0.47		0.29		0.33		0		0.20		2.25		0		0.50	
51週	0.47		0.14		0.17		0		0.80		0.75		0		3.00	
52週	0.59		0.14		0.33		0		0.80		1.50		0		3.00	
1週	0.72		0.57		0.67		0		1.20		1.25		0		2.00	
2週	0.56		0.43		0.50		0.50		1.00		0.50		0.25		1.00	
3週	0.78		0.14		0.50		0.25		1.20		2.00		0.25		2.50	
4週	0.81		0.14		0.50		0.50		1.80		1.00		0.25		3.00	

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人以下になるまで継続して出されます。

咽頭結膜熱の警報発生状況(平成18年第51週～平成19年第4週)

週	滋賀県		大津保健所		草津保健所		甲賀保健所		東近江保健所		彦根保健所		長浜保健所		高島保健所	
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	
51週	0.69		0.43		2.33		0		0.40		0		0.50		0.50	
52週	0.28		0.14		0.17		0		0.40		0		0.75		1.00	
1週	0.09		0.14		0.17		0		0.20		0		0		0	
2週	0.13		0		0.33		0		0		0		0.50		0	
3週	0.34		0.57		0.17		0.50		0		0		1.00		0	
4週	0.19		0.29		0.33		0		0.40		0		0		0	

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が0.1人以下になるまで継続して出されます。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報

流行発生注意報という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

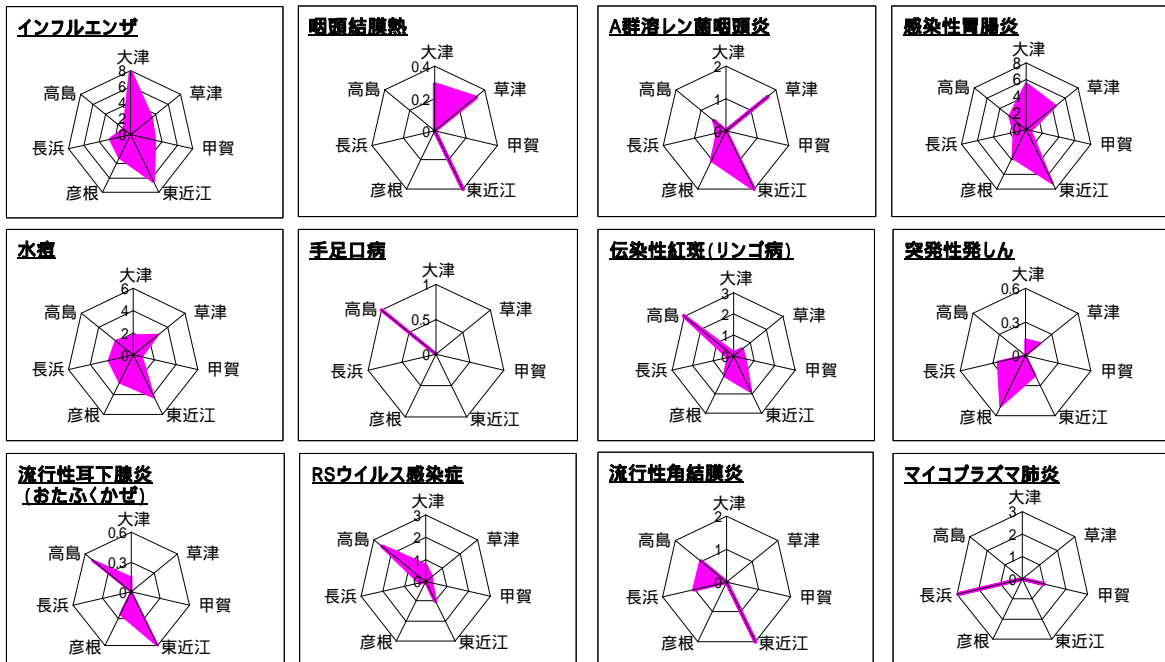
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第4週、1/22～1/28)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	4.42	7.82	3.30	3.00	6.38	3.14	2.57	1.00	
RSウイルス感染症	0.59	0.71	0.33	0.25	1.00	0	0.25	2.50	
咽頭結膜熱	0.19	0.29	0.33	0	0.40	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	0	1.67	0	2.00	1.00	0.25	0.50	
感染性胃腸炎	4.06	5.57	4.50	0.50	7.20	3.75	1.50	2.50	
水痘	2.41	1.71	2.83	0.75	4.20	2.75	2.25	2.00	
手足口病	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.81	0.14	0.50	0.50	1.80	1.00	0.25	3.00	
突発性発しん	0.19	0.14	0.17	0	0.20	0.50	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0.14	0	0	0.60	0.25	0	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0	0	0	2.00	0	1.00	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	1.00	0	0	3.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 1 2 3 4 5
定点当たり患者数(人)

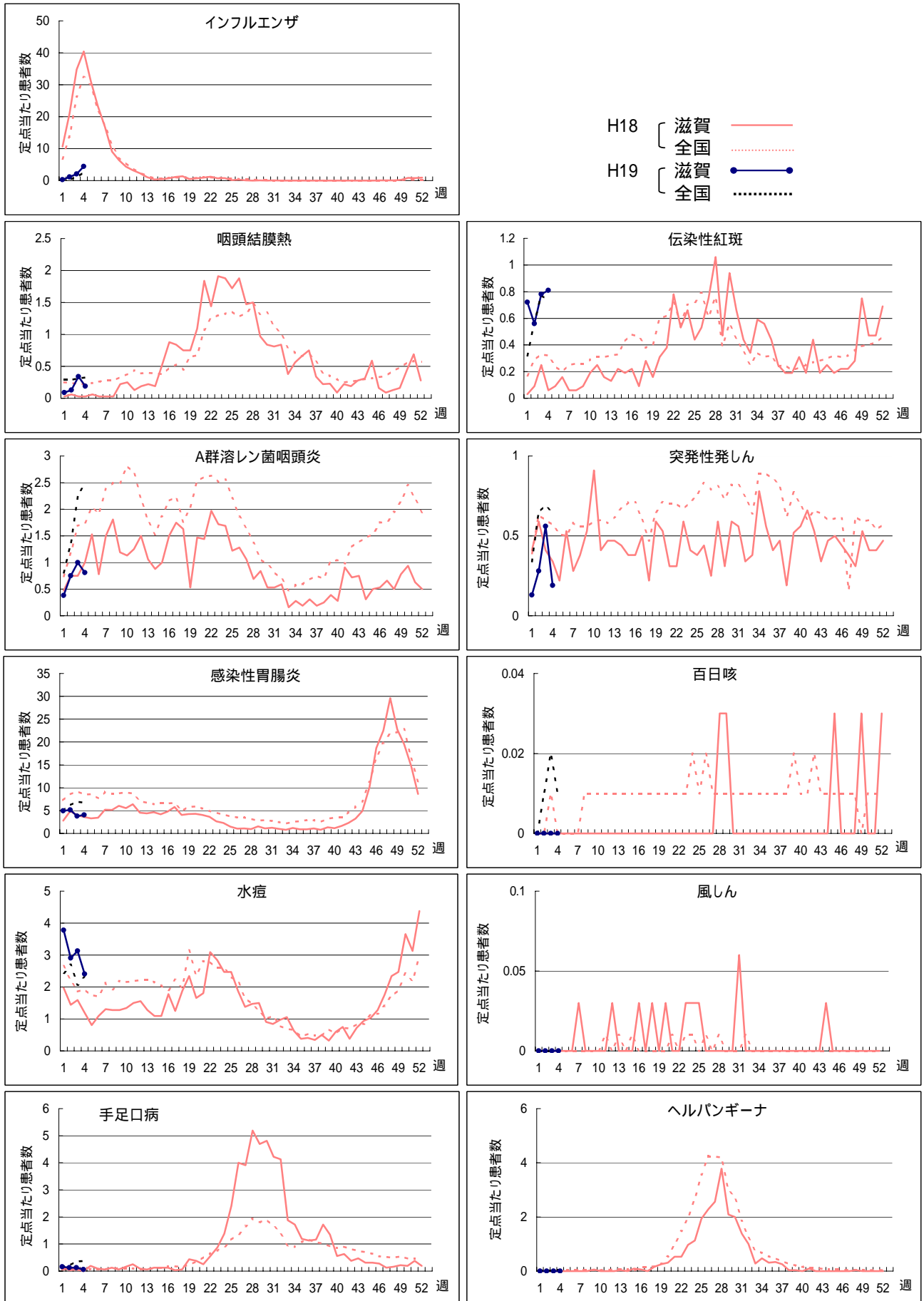
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----県全体では先週に引き続き急増しており、大津および東近江の定点当たり患者数は、それぞれ7.82、6.38とやや多くなっています。
- 咽頭結膜熱-----県全体では先週より減少しており、大津、草津、東近江から報告されています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎---- 県全体では先週より減少していますが、彦根で先週よりかなり増加しています。
- 感染性胃腸炎-----ほとんどの保健所管内で先週より減少または横ばいとなっていますが、東近江では先週よりかなり増加し定点当たり患者数は7.20となっています。
- 水痘-----県全体では先週より減少していますが、大津、長浜および高島で先週より増加しています。
- 手足口病-----先週とほぼ同様の発生状況です。
- 伝染性紅斑-----東近江および高島で先週より増加し、彦根および高島では流行発生警報が引き続き発生しています。
- 突発性発しん-----県全体では先週より減少しています。
- 流行性耳下腺炎-----県全体では先週より減少しています。
- RSウイルス感染症-----大津、東近江および長浜で先週よりやや多くなっています。
- 流行性角結膜炎-----東近江および高島から報告されています。
- マイコプラズマ肺炎-----甲賀および長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第4週、H19.1.1～H19.1.28)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第4週、H19.1.1～H19.1.28)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

